

## 🇧🇷 ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年2月19日

【2018年2月10日～2018年2月16日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは対米ドルで上昇する一方、米ドル安・円高が進行したことを受けて対円では小幅に下落しました。また、2年国債金利は大幅に低下しました。

15日(現地、以下同様)にブラジル中央銀行が発表したCOPOM(金融政策委員会)議事録では、低インフレ環境が継続する限りにおいて、金融緩和サイクルの延長が容認されることが示されていました。7日のCOPOM後の声明文では利下げ打ち止めが示唆されていたことに比べると、金融緩和に積極的な姿勢が前面に出る内容でした。この結果、既に発表されているIPCAインフレ率が弱い数字であったことを踏まえて、3月のCOPOMにおける0.25%ポイントの追加利下げ観測が一段と織り込まれる形となり、2年国債金利は大きく低下しました。

年金改革法案につきましては、カーニバルによる休日などもあり、法案採決に向けて目立った進展はありませんでした。一部の現地報道では、マイア下院議長が年金改革を棚上げするための演説を準備しているとの観測もあられる模様です。

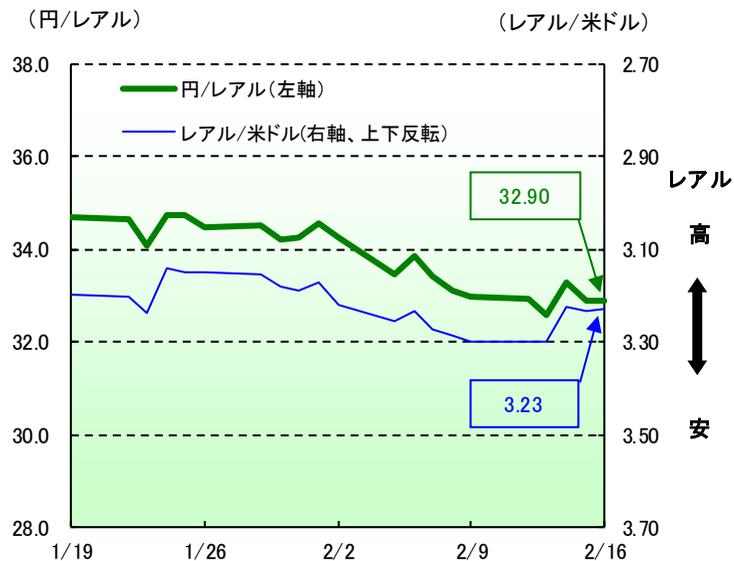
### 【2】今週の見通し

先週末にブラジル連邦政府は、リオデジャネイロ州の治安状況が悪化していることを受けて、同州の保安部門を中央政府が直接統治することを宣言し、テメル大統領が大統領令に署名しました。今週はこの大統領令について上下両院での承認手続きが優先して行われるため、当初19日に予定されていた年金改革法案の採決は延期される見通しです。この地方自治に対する突然の介入は、テメル大統領が年金改革法案の採決失敗を隠すために行われたとの見方もあり、同法案の採決は10月の大統領選後に先送りされる可能性は非常に高まっています。

経済指標では、経済活動指数やインフレ率(IPCA-15)の発表が予定されています。特に後者につきましては、最新のインフレ状況を示すという意味で、ブラジル中央銀行の政策判断に大きな影響を与える可能性もあり、市場の注目が集まります。市場予想では、前回の前年比3%台から同2%台後半へとインフレが鈍化する見込みとなっています。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

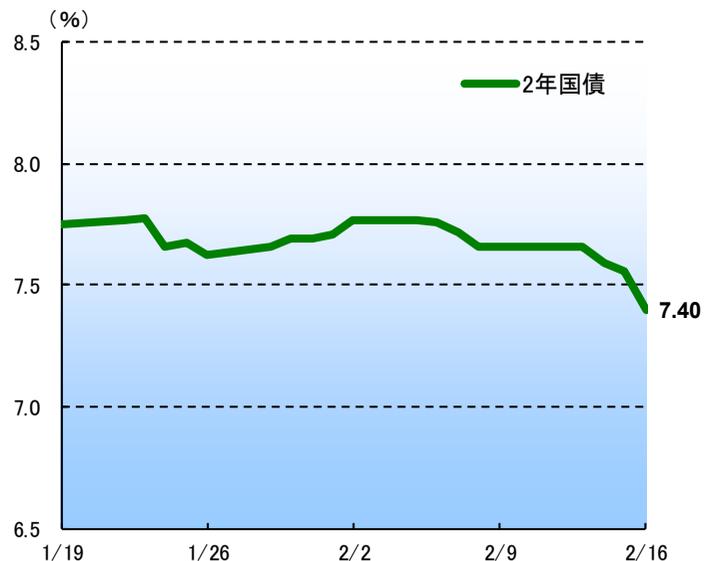
(2018年1月19日～2018年2月16日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年1月19日～2018年2月16日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>